

鹿児島県感染症情報

2010年第51週報(12月20日~12月26日)

発行：鹿児島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/index.html>》

県内に感染性胃腸炎の流行発生警報が発令中です。今週の報告数も前週よりさらに増加しています。今後の動向に注意して手洗い等の予防対策に努めましょう。

★ 県内の感染性胃腸炎の発生動向と予防対策について

今週の感染性胃腸炎の報告数は、前週(1,065人)より87人多い1,152人(定点当たり報告数20.95)となり、第45週以降、7週連続で増加を認めています。報告数の増加に伴い、前週に引き続き県内には流行発生警報が発令中です。当センターが実施している病原体サーベイランスでは、ノロウイルスの検出率が高くなっています。感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要です。

県内におけるインフルエンザは、今週も増加が認められ、定点当たり報告数でも2.00を超えてきました。感染しない・させないためにも手洗い・咳エチケット等の予防対策に努めましょう。

★ 県内のインフルエンザの発生動向と予防対策について

今週のインフルエンザの報告数は、前週(171人)より93人多い264人(定点当たり報告数2.84)に増加しました。また、流行開始の指標(定点当たり報告数1.00)を超えた状況も4週続いています。流行に備え、ワクチン接種をしていない人は早めに接種を受け、また、個人も出来る手洗い・咳エチケット等の予防対策に努めましょう。

今週は、感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症として、鳥類(ナベツル)からの鳥インフルエンザ(H5N1)が2例報告されました。鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察など通常の接し方では、ヒトには感染しないと考えられていますので、冷静な行動をお願いします。

★ 野鳥と接する際の注意点

1. 死亡した野鳥など野生動物は、素手で触らないでください。また、同じ場所でたくさんの野鳥が死亡していたら、お近くの市町村役場あるいは最寄りの地域振興局にご連絡ください。
2. 日常生活において、野鳥など野生動物の排泄物に触れた後には、手洗い・うがいを励行してください。過度に心配する必要はありません。
3. 野鳥の糞が靴の裏や車両に付着することにより、ウイルスが他の地域へ運ばれる可能性があるため、野鳥には近づきすぎないようにしてください。靴で糞を踏まないよう十分注意し、必要に応じ消毒を行ってください。
4. 不必要に野鳥を追い立てたり、つかまえようとするのは避けてください。

☆ 一～五類感染症(全数報告疾病)および獣医師が届出を行う動物感染症の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 9例(肺結核3例, 結核性胸膜炎4例, 尿路結核1例, 粟粒結核1例), (削除) 第50週: 結核1例
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	つつが虫病 7例, (追加) 第49週: つつが虫病1例, 第50週: つつが虫病6例
五類感染症	後天性免疫不全症候群 1例
動物感染症	鳥インフルエンザ(H5N1) 2例

☆ 定点報告疾病の発生状況

- ・ 第51週の定点把握対象疾病の総報告数は2,052人で、第50週より217人多かった(詳細については後述)。
- ・ **流行発生警報**の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所(数値)は定点当たり報告数、アンダーラインは今週から基準値以上の保健所
 - 【感染性胃腸炎(開始20.0, 終息12.0)】: 鹿屋(39.40), 鹿児島市(27.38), 始良(27.29), 伊集院(22.25), 志布志(22.00), 加世田(21.00)
 - 【流行性耳下腺炎(開始6.0, 終息2.0)】: 大口(9.50), 鹿児島市(6.15), 伊集院(4.75)
 - 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(開始8.0, 終息4.0)】: 川薩(19.50), 【伝染性紅斑(開始2.0, 終息1.0)】: 鹿児島市(2.92)
 - 【咽頭扁桃炎(開始3.0, 終息1.0)】: 鹿屋(2.60) → **鹿屋保健所は第50週(3.00)から開始基準値を超えている。**
- ・ **流行発生注意報**の基準値以上の保健所
 - 【水痘(基準値4.0)】: 西之表(6.00), 鹿児島市(5.08), 出水(4.00), 【流行性耳下腺炎(基準値3.0)】: 始良(4.00)

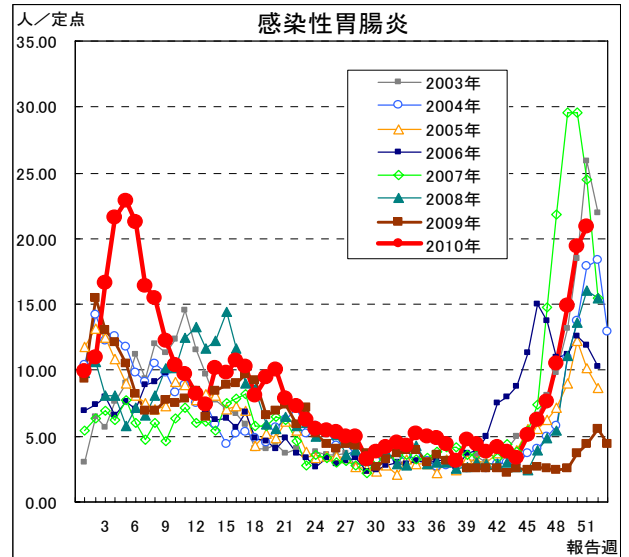
☆ 定点報告疾病(定点当たり報告数の上位3疾病の発生状況)

(1) 感染性胃腸炎

第51週の感染性胃腸炎の報告数は1,152人で、前週より87人多く、定点当たりの報告数は20.95であった。7週連続で増加しているものの、増加幅は小さくなっています。

年齢別では、20歳以上(188人)、1歳(187人)、2歳(131人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所(39.40)、鹿児島市保健所(27.38)、始良保健所(27.29)が多い。鹿児島市保健所は3週連続、鹿屋、始良、志布志(22.00)保健所は2週連続、今週から伊集院(22.25)、加世田(21.00)保健所が流行発生警報の基準値以上である。

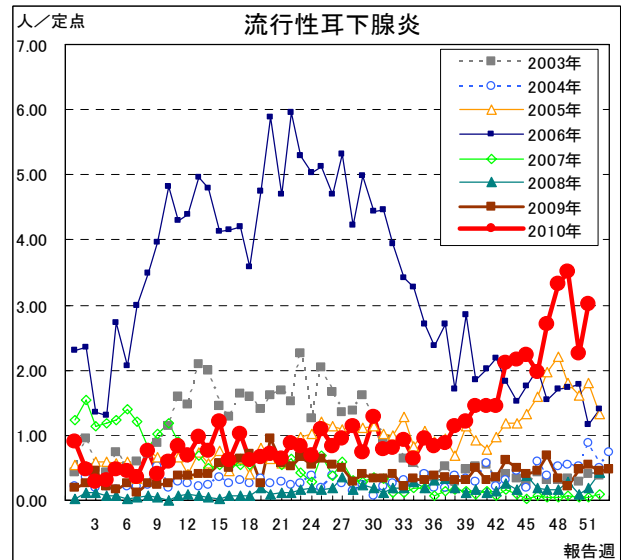


(2) 流行性耳下腺炎

第51週の流行性耳下腺炎の報告数は166人で、前週より42人多く、定点当たりの報告数は3.02であった。例年の同時期報告数より多い状況が続いているため、今後の動向には注意が必要です。

年齢別では、5歳(26人)、2歳(25人)、3歳(24人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、大口保健所(9.50)、鹿児島市保健所(6.15)、伊集院保健所(4.75)が多い。伊集院保健所は5週連続、鹿児島市保健所は4週連続、大口保健所は3週連続で流行発生警報の基準値以上である。また、始良保健所(4.00)は今週から流行発生注意報の基準値以上である。



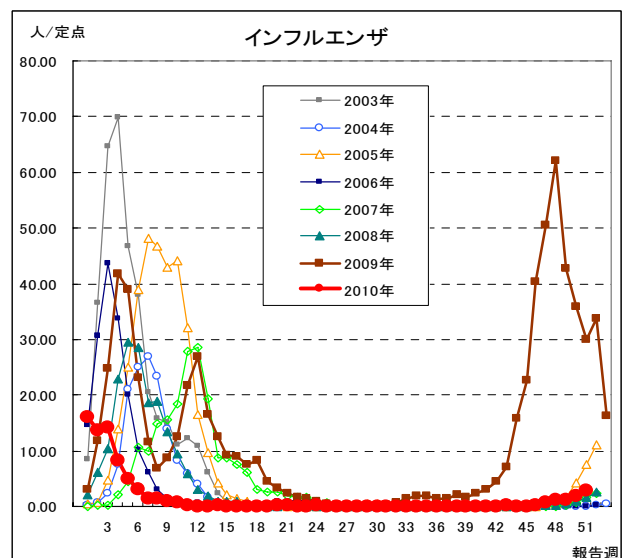
(3) インフルエンザ

第51週のインフルエンザの報告数は264人で、前週より93人多く、定点当たりの報告数は2.84であった。報告数は徐々に増加傾向にあり、今後さらに増加していくことが予想されます。個人で出来る予防対策に努めてください。

当センターが実施している11月以降の病原体サーベイランスでは、10検体の陽性例のうち5例がAH3(香港型)、5例がAH1pdm(新型)となっている。特に、12月以降はAH1pdm(新型)の検出率が高くなってきている。

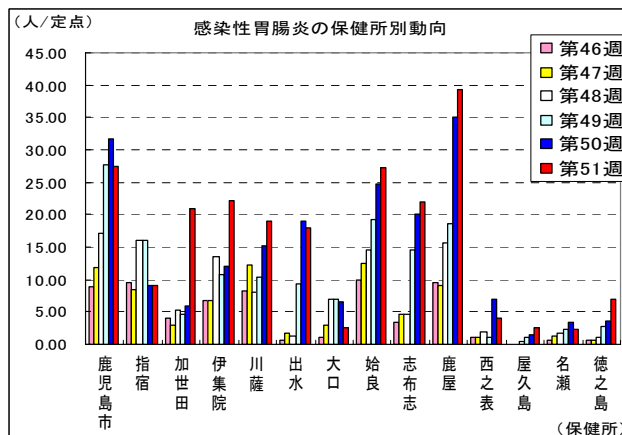
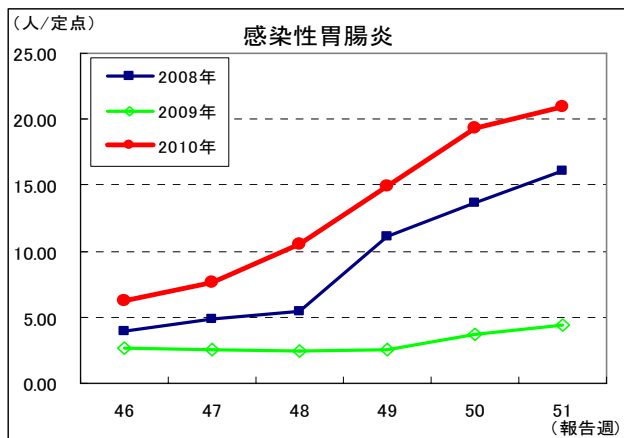
年齢別では、10~14歳(35人)、5歳(24人)、6歳(23人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所(6.13)、鹿児島市保健所(5.52)、加世田保健所(4.67)が多い。

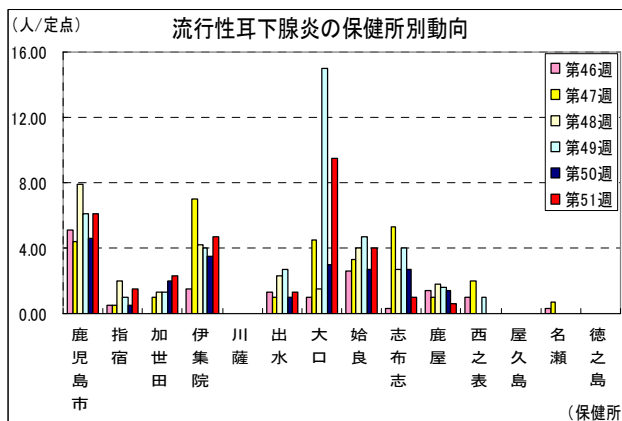
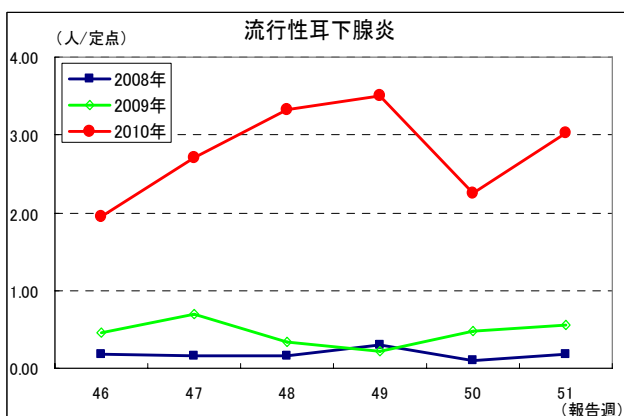


☆上位3疾病の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

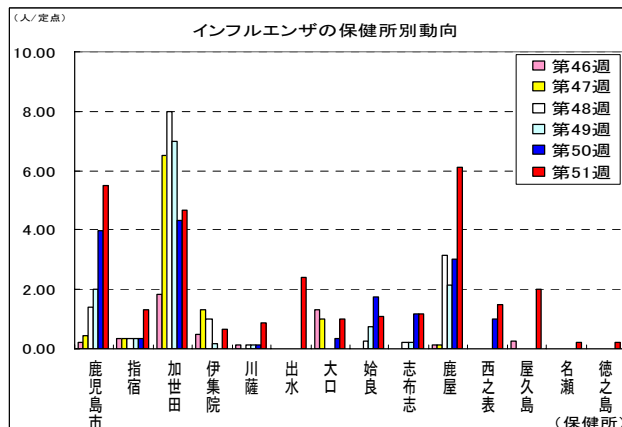
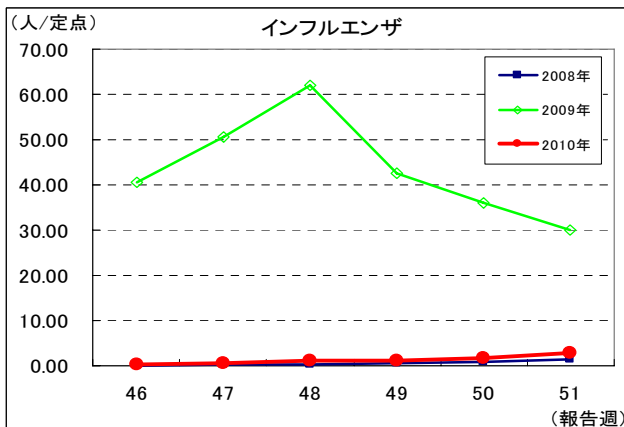
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) 流行性耳下腺炎 (流行発生警報は開始基準値 6.0 以上)

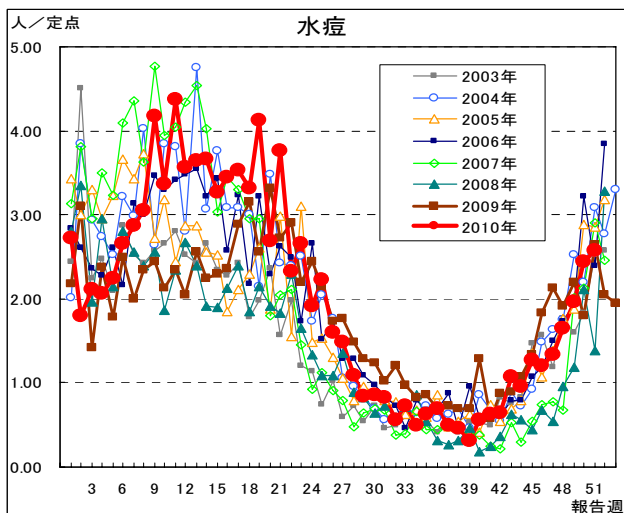


(3) インフルエンザ (流行発生警報は開始基準値 30.0 以上)

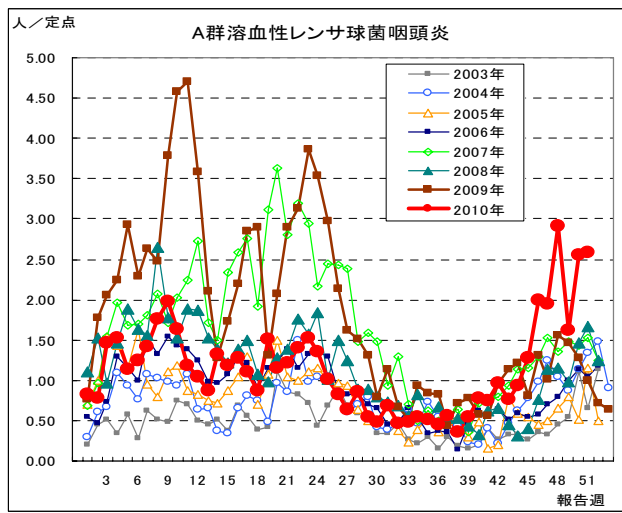


☆注目される感染症の発生状況

★水痘の発生状況 (鹿児島県)



★A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況



☆定点報告疾病の発生状況

2010年	(報告週)	第51週			
定点種別	定点報告疾病	報告数	定点当り	累積報告数 (2010年)	
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	○ インフルエンザ	264	2.84	6,978	
	○ RSウイルス感染症	44	0.80	2,032	
小児科定点	咽頭結膜熱	45	0.82	1,132	
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	142	2.58	3,235	
	○ 感染性胃腸炎	1,152	20.95	24,794	
	○ 水痘	142	2.58	5,660	
	手足口病	-	0.00	2,756	
	伝染性紅斑	57	1.04	920	
	突発性発しん	25	0.45	1,525	
	○ 百日咳	1	0.02	42	
	○ ヘルパンギーナ	3	0.05	2,077	
	○ 流行性耳下腺炎	166	3.02	3,189	
	眼科定点	急性出血性結膜炎	-	0.00	3
		流行性角結膜炎	6	0.86	360
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.00	4	
	無菌性髄膜炎	-	0.00	6	
	マイコプラズマ肺炎	5	0.42	76	
	クラミジア肺炎	-	0.00	3	
報告数合計		2,052		54,792	

○印は前週比増

☆5週間前からの疾病別報告数・定点当たり報告数

	5週前 (2010年46週)	4週前 (2010年47週)	3週前 (2010年48週)	2週前 (2010年49週)	1週前 (2010年50週)	今週 (2010年51週)
インフルエンザ	27 0.29	62 0.67	117 1.26	117 1.26	171 1.84	264 2.84
RSウイルス感染症	38 0.69	18 0.33	48 0.87	43 0.78	41 0.75	44 0.80
咽頭結膜熱	29 0.53	27 0.49	28 0.51	51 0.93	52 0.95	45 0.82
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	110 2.00	107 1.95	160 2.91	89 1.62	140 2.55	142 2.58
感染性胃腸炎	343 6.24	421 7.65	579 10.53	820 14.91	1065 19.36	1152 20.95
水痘	66 1.20	73 1.33	91 1.65	108 1.96	135 2.45	142 2.58
手足口病	4 0.07	6 0.11	4 0.07	1 0.02	2 0.04	-
伝染性紅斑	45 0.82	32 0.58	48 0.87	47 0.85	59 1.07	57 1.04
突発性発しん	28 0.51	27 0.49	30 0.55	32 0.58	31 0.56	25 0.45
百日咳	-	2 0.04	-	1 0.02	-	1 0.02
ヘルパンギーナ	3 0.05	3 0.05	5 0.09	1 0.02	2 0.04	3 0.05
流行性耳下腺炎	108 1.96	149 2.71	183 3.33	193 3.51	124 2.25	166 3.02
急性出血性結膜炎	-	1 0.14	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4 0.57	7 1.00	4 0.57	3 0.43	7 1.00	6 0.86
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2 0.17	2 0.17	2 0.17	4 0.33	6 0.50	5 0.42
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	1 0.08	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2010年51週(平成22年12月20日～平成22年12月26日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	264	2.84	44	0.80	45	0.82	142	2.58	1152	20.95	142	2.58	0	0.00	57	1.04	25	0.45
鹿児島市	127	5.52	24	1.85	23	1.77	32	2.46	356	27.38	66	5.08	-	-	38	2.92	7	0.54
指宿	4	1.33	-	-	-	-	2	1.00	18	9.00	3	1.50	-	-	-	-	-	-
加世田	28	4.67	-	-	-	-	-	-	63	21.00	3	1.00	-	-	5	1.67	1	0.33
伊集院	4	0.67	6	1.50	2	0.50	1	0.25	89	22.25	9	2.25	-	-	5	1.25	-	-
川薩	6	0.86	-	-	1	0.25	78	19.50	76	19.00	12	3.00	-	-	3	0.75	6	1.50
出水	12	2.40	3	1.00	2	0.67	12	4.00	54	18.00	12	4.00	-	-	-	-	1	0.33
大口	3	1.00	1	0.50	-	-	-	-	5	2.50	5	2.50	-	-	-	-	-	-
始良	12	1.09	2	0.29	4	0.57	6	0.86	191	27.29	8	1.14	-	-	6	0.86	8	1.14
志布志	6	1.20	-	-	-	-	-	-	66	22.00	1	0.33	-	-	-	-	-	-
鹿屋	49	6.13	-	-	13	2.60	10	2.00	197	39.40	9	1.80	-	-	-	-	1	0.20
西之表	3	1.50	8	8.00	-	-	-	-	4	4.00	6	6.00	-	-	-	-	-	-
屋久島	8	2.00	-	-	-	-	-	-	5	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	1	0.20	-	-	-	-	1	0.33	7	2.33	5	1.67	-	-	-	-	1	0.33
徳之島	1	0.20	-	-	-	-	-	-	21	7.00	3	1.00	-	-	-	-	-	-

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1	0.02	3	0.05	166	3.02	0	0.00	6	0.86	0	0.00	0	0.00	5	0.42	0	0.00
鹿児島市	-	-	3	0.23	80	6.15	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	19	4.75	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	1.00	-	-
大口	-	-	-	-	19	9.50	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	28	4.00	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4.00	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2010年51週(12月20日～12月26日)

(インフルエンザ定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ 報告数	264	2	1	6	4	18	17	24	23	21	14	18	35	13	18	22	12	8	3	1	4
インフルエンザ 定点当り	2.84	0.02	0.01	0.06	0.04	0.19	0.18	0.26	0.25	0.23	0.15	0.19	0.38	0.14	0.19	0.24	0.13	0.09	0.03	0.01	0.04
(小児科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症 報告数	44	8	6	20	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症 定点当り	0.80	0.15	0.11	0.36	0.13	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 報告数	45	1	5	18	2	4	4	4	2	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 定点当り	0.82	0.02	0.09	0.33	0.04	0.07	0.07	0.07	0.04	-	0.05	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 報告数	142	-	4	25	11	17	15	21	13	6	6	6	16	-	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点当り	2.58	-	0.07	0.45	0.20	0.31	0.27	0.38	0.24	0.11	0.11	0.11	0.29	-	0.04	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 報告数	1152	2	73	187	131	101	79	81	49	45	43	40	96	37	188	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 定点当り	20.95	0.04	1.33	3.40	2.38	1.84	1.44	1.47	0.89	0.82	0.78	0.73	1.75	0.67	3.42	-	-	-	-	-	-
水痘 報告数	142	3	6	31	26	25	11	14	8	4	5	3	4	-	2	-	-	-	-	-	-
水痘 定点当り	2.58	0.05	0.11	0.56	0.47	0.45	0.20	0.25	0.15	0.07	0.09	0.05	0.07	-	0.04	-	-	-	-	-	-
手足口病 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 報告数	57	-	-	3	3	4	5	11	8	7	3	4	5	1	3	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 定点当り	1.04	-	-	0.05	0.05	0.07	0.09	0.20	0.15	0.13	0.05	0.07	0.09	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 報告数	25	-	12	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 定点当り	0.45	-	0.22	0.22	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 報告数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 定点当り	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 報告数	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 定点当り	0.05	-	-	0.04	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 報告数	166	-	4	13	25	24	22	26	19	10	8	6	5	1	3	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 定点当り	3.02	-	0.07	0.24	0.45	0.44	0.40	0.47	0.35	0.18	0.15	0.11	0.09	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎 報告数	6	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-
流行性角結膜炎 定点当り	0.86	-	-	0.14	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	0.14	0.14	0.14	-	-
(基幹定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 報告数	5	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 定点当り	0.42	-	0.08	0.25	-	-	-	-	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-